

病院薬剤師のポリファーマシーへの介入後の減薬維持の課題

Author 矢吹 直寛、清水 裕

Source 第26回日本医療マネジメント学会学術総会(2024.6)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける血液透析患者へ薬剤師の診察前面談の取り組み

Author 清水 裕、矢吹 直寛

Source 第26回日本医療マネジメント学会学術総会(2024.6)

薬剤耐性アクションプランの目標達成に向けた市中病院での取り組みとその成果

Author 米山舞子、清水 裕、吉田憲司、宮下 諒、太田有香、矢吹 直寛

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第 53 回学術大会(2023.8)

彩の国東大宮メディカルセンターでのトレーシングレポートによるインシデント回避事例

Author 清水 裕、矢吹 直寛

Source 第25回日本医療マネジメント学会学術総会(2023.6)

ニボルマブ+イピリムマブ療法による間質性腎炎に対してプレドニゾロンを導入し、漸減・中止後に副腎不全が起きた1例

Author 吉田憲司、橋本知世、赤井涼子、高木賢治、八木一騎、岡田栄子、矢吹 直寛

Source 臨床腫瘍薬学会学術大会2022(2023.3)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける「退院時薬剤情報連携加算」の取り組みと課題の検討 第2報

Author 清水 裕、宮下 諒、寺内 香保里、高橋 れな、矢吹 直寛

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第 51 回学術大会(2021.8)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける薬薬連携への取り組みと今後の展望

Author 医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 薬剤部 1)、 彩の森薬局 2)

宮下 諒1)、大野 哲史2)、清水 裕1)、織本 桂1)、矢吹 直寛1)

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第 50 回学術大会(2020.10)

彩の国東大宮メディカルセンターにおける「退院時薬剤情報連携加算」の取り組みと課題の検討

Author 清水 裕、宮下 諒、寺内 香保里、高橋 れな、織本 桂、矢吹 直寛

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第 50 回学術大会(2020.10)

Dr.JOYを利用した当院の医薬品情報業務効率化だけでなく、質にこだわる業務改善

Author 矢吹 直寛 (紹介発表)

Source 日本病院薬剤師会 第 41 回近畿学術大会 (2020.2)

当院における簡易懸濁法手順の過去と現在の差から見える問題点

Author 医療法人社団協友会 彩の国東大宮メディカルセンター 薬剤部 1)、 日本薬科大学臨床薬学部門 2)

清水 裕 1)、織本 桂 1)、小笠原 健人 2)、吉田 拓海 2)、松村 久男 2)、矢吹 直寛 1)

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第 49 回学術大会 (2019.8)

薬剤師の介入による減薬と入院期間短縮への可能性

Author 宮下 諒、清水 裕、野間 将太、吉田 憲司、織本 桂、矢吹 直寛

Source 日本病院薬剤師会 関東ブロック第 48 回学術大会 (2018.8)

抗がん剤投与患者における B 型肝炎再活性化に対する取り組みと評価

Author 高木 美紀、寺内 香保里、高橋 梨奈、井口 沙織、吉田 憲司、野間 将太、清水 裕、織本 桂、矢吹 直寛

Source 埼玉県病院薬剤師会 第 17 回学術大会 (2018.3)

国際病院評価機構 JCI 取得に向けた薬品管理業務の取り組み ～ハイアラート薬管理を中心に～

Author 清水 裕、阿部 嗣子、野間 将太、吉田 憲司、織本 桂、矢吹 直寛

Source 埼玉県病院薬剤師会 第 17 回学術大会 (2018.3)

DPP-4阻害薬を服用中の2型糖尿病患者がSARS-CoV-2mRNAワクチン接種後に水疱性類天疱瘡を発症した一例

Author 清水裕1, 石村淳2

彩の国東大宮メディカルセンター薬剤部1 日本薬科大学薬学科実践薬学分野2

Source 日本くすりと糖尿病学会誌「くすりと糖尿病」 12 (2) , 79-83 (2023)

NDBオープンデータを用いた歯科領域における抗菌薬の使用状況の調査

Author 矢吹直寛1, 石村淳2

彩の国東大宮メディカルセンター薬剤部1 日本薬科大学薬学科実践薬学分野2

Source 歯科薬物療法, 第42 巻2号 2023年8月4日受理

Anamorelin-induced QT prolongation

Author 清水裕1, 安武夫2, 織本桂3, 矢吹直寛1

彩の国東大宮メディカルセンター1, 明治薬科大学薬学教育研究センター臨床薬学部門 治療評価学2, 浅草病院3

Source Journal of Palliative Medicine 27-Jan-2023